

毒きのこ食中毒は、 例年10月に最も多発しています。

きのこ食中毒の予防心得

1 採らない！ 食べない！ 人にあげない！

食用と正確に判断できない場合、これを守りましょう。

2 信じない！

次の様々な「言い伝え」は、全く根拠がない迷信です。

(誤った迷信)

(正しい回答)

- ◆ **柄が縦に裂ければ大丈夫** → **多くの毒きのこは柄が縦に裂ける**
- ◆ **ナスと一緒に煮れば毒が消える** → **一緒に煮ても毒は消えない**
- ◆ **虫が食べるきのこは食べられる** → **毒きのこでも虫は食べる**

非常に危険な **猛毒きのこ** の例

命に関わる非常に危険な食中毒を起こす猛毒きのこもあります。

1 ドクツルタケ



- 特徴** 全体に清楚な白色で、つばとつぼをもち、英名を「死の天使」という。
- 症状** コレラ様症状を呈し、死に至ることもある。

② コレラタケ



特徴 ナラタケなどに似たきのこ。公園などのおがくずに出ることがある。

症状 腹痛や下痢などのコレラのような症状が続き、死に至ることもある。

③ カエンタケ



特徴 棒状やサンゴ状をした赤色のきのこで、時に20cmを超える。

症状 運動機能や言語障害、腎不全、肝不全が起こり、死亡することもある。

スギヒラタケの摂取は控えましょう

- 平成16年秋に、新潟県をはじめ日本海側を中心とした地域で原因不明の急性脳症事例が多発しました。
- 平成19年以降にも、新潟県ではスギヒラタケの摂取歴のあった急性脳症の疑い患者が発生しています。（因果関係は不明）
- 未だ原因の解明に至っていない状況であり、その因果関係が否定できないことから、**スギヒラタケの摂取を控える**ようにしましょう。



スギヒラタケ